

第2回 運営推進会議

| | |
|--------|---|
| 開催日時 | 平成29年3月15日(水)13:00~14:00 |
| 参加者 | ご利用者様ご家族 民生委員 地域包括センター職員 共立医療会専務 河野 デイサービス職員 木村 デイサービス管理者 丸井 |
| 司会進行 | 管理者 丸井 |
| 議事録作成者 | 職員 木村 |

1 当日の次第

- (1) 開会の挨拶
- (2) 活動状況、利用状況報告
- (3) ヒヤリハット・事故・苦情報告
- (4) その他報告
- (5) 質疑応答
- (6) 意見交換、地域の助言、ご家族の要望等
- (7) 閉会の挨拶

2 活動状況、利用状況報告

現在の利用者数 19名 1~2月にかけて介護度が上がっている(資料1参照)

要介護2,3の利用者が増え、平均年齢が88.3歳と上昇。介護度、年齢の上昇に伴い職員が1対1で対応することが多くなっている。散歩などでは半数が車椅子という日もある。

認知症の方で徘徊などが増え、介護度が上がっている方が2名入所を検討されている。

その方々もデイサービスに来ると比較的落ち着いて過ごしており、出来ないことは職員がフォローし出来るだけ残存能力を維持できるよ心がけている。

一日の平均利用者数は平均8.2名。(定員10名)ショートに行かれる方も多いため5~6名の日もある。

介護度別利用者数について(資料1参照)

予防相当の方については、1月より市の総合事業に移行し事業対象者となられた方が2名。

介護の方と予防の方とは出来ることに差があるが、共に過ごすことで相乗効果もあり良い関係を築いている。

活動状況について、季節に応じた行事と体調を見ながら外出活動を行った。(資料参照)

紅葉や梅を見に行ったり、天気の良い日には近所へ散歩に行きました。

近所への散歩は永山近辺は坂が多く歩くのが厳しいところではあるため、時間を多くとったり、休憩時間を多くとったりして対応している。

外出活動には季節感を感じたり、人とのふれあいもあり笑顔が増え良い刺激になっている。

調理は手先を使う良い活動で、自分たちで作る大変さと楽しみからか、普段はあまり食の進まない方も良く召し上がっていて食事が量が増える傾向にある。

日常の活動では、脳トレ(計算や間違え探しなど)・ストレッチ・入浴・創作活動など個別活動・口腔体操スィヒョイ体操(立ち上がり虚弱予防の体操)にご自身の出来る範囲で参加していただいている。

3 ヒヤリハット・事故・苦情報告

事故予防のため些細なことでも全体で共有するため職員に記入を促している。

入浴前のバイタルチェックー職員全体でチェックと担当者のダブルチェック

食事の喉つまりー食事提供の仕方を変える(細かく切る)

トイレ内のふらつきー今まではお一人で行っていたが、以後職員がトイレ内に同行し介助

いつもは自力で立てない方が一人で立っていたー職員は死角がない位置で見守る

散歩時の転倒ー歩ける人同士で手をつないでいたが、段差のあるところは職員で対応

苦情について

9月送迎日と送迎時間が全く違う日を記入していた→時間変更などにはラインを引く、ダブルチェック対応

12月時計紛失(家の中にあるが見当たらない)→高価なものはデイに持ってこない。支度を一緒にする

他の利用者の言動が気になるため別のデイに変わりたい→「他のデイでもいろいろありますよ。」

包括さんからの助言もあり気持ちを切り替えて下さった。

2月クリニック前の道に送迎車が2台が路上で待機していたた渋滞してしまった

→人や車の往来が多く渋滞の元となってしまう。駐車場に入れなときは時間をあげ路上に駐車しない。

3月鍵がない→認知症の症状が進み大事なものをあちこちとしまうようになっていた。普段使わない

ロッカーにしまっていったため気づかなかった。以後しまうところはすべて確認する。

4 その他報告

感染症対策講習→11月に実施。手洗いの徹底、嘔吐したときは必要なものをセットしておきすぐに清掃除菌する。みんなで手順等の確認。また自分が感染している時には早めに申し出る。

防災訓練について→10月28日多摩消防署と合同で実施。消火器消化の実践や非常ベルを鳴らし本格的に行った。以前はカセットコンロを使用していたが、現在は使用していないためコンセントからの出火を想定しての訓練を行った。それぞれが避難できるように訓練を行った。

現在の消防車はどんな細いところでも必ず降りれるよう救助するとのこと、どうしても逃げ切れない時はテラスに待機することとなった。また、防火扉を閉めたら火が漏れることはないので階段の踊り場で待機しても良いとのことだった。

地震時は机の下に降りれない場合は座布団などで頭を覆う。なければ手の甲で頭を隠すよう指導を受けた。建物に損傷がなければドアを開けてすぐに外に出られるようそこで待機することも考える。避難場所へ送迎できるようならする。避難時にはさくらんぼの利用者であることがわかるよう、ピンクのリボンで目印を作った。施設としては飲料水などの備蓄を検討している。

1階がクリニックなので近所の人もある可能性があるため多めに用意したほうが良いとの指導だった。今年も秋に避難訓練を実施する予定。

ボランティアの受け入れについて→3名のボランティアさんが傾聴、折り紙、弾き語りでそれぞれ活躍してくださっています。職員だけでは引き出せない意欲や笑顔ががら良い刺激となっています。

5 質疑応答

民生委員より

防災の件で。他の地区の避難訓練の報告ですが、避難所は体のご不自由な方には不便で施設の方が良い面があるため、災害時は期間を決めて受け入れて頂くことも検討されています。さくらんぼは災害時は避難所に行くよりもクリニックが併設されているのでこちらに待機された方が良いと思われます。避難するとすれば、多摩市はどこに避難しても良いので立地面で多摩第三小学校の方が良いかと思われます。

すぐに避難するという考えではなく建物に被害がなければ留まる方向で考えた方が良く、最近では考えられるようになってきました。

所長より

消防署からも避難所の件は説明があり、避難するなら坂の上になる永山小より三小の方が良いかもしれないとのことでした。避難が困難な場合、ここに留まる事も考え物資の備蓄を促されました。

専務より

地域によっていろいろあることはわかりました。ただ宿泊施設は当院にはないのでどうかと思う。身を守ることが第一なので、出来る限りは対応したい。

民生委員より

ボランティアの受け入れはどちらからの紹介ですか？

所長より

常時来ていただいているのはじゃん多摩ボランティアの高齢ボランティアさん、夏ボラも受け入れてあります。皆さん経験豊かな方ばかりで助けられております。

利用者様

ご家族より

徘徊について。我が家も心配です。今のところ徘徊はないが外に出ると靴の置き方でわかります。今のところ敷地からは出ていないようですが、デイがないときは「つまらない」と外に出てしまいます。デイに居るときは安心だが今後は心配です。

所長より

24時間、ご家族が見ることは難しいです。デイにいらしているときにいっぱい動いて体力を使って頂き、休みの日にお家でゆっくり休んでもらえると良いと思います。

包括職員より

徘徊される方も、デイの利用日は生活のリズムができて体を使うので徘徊が少ないようです。

6 閉会 今後もより一層の支援をさせて頂きたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

次回開催予定日

平成29年9月20日（水） 13：00～